

2023年度日本語教育学会秋季大会 地域発信企画

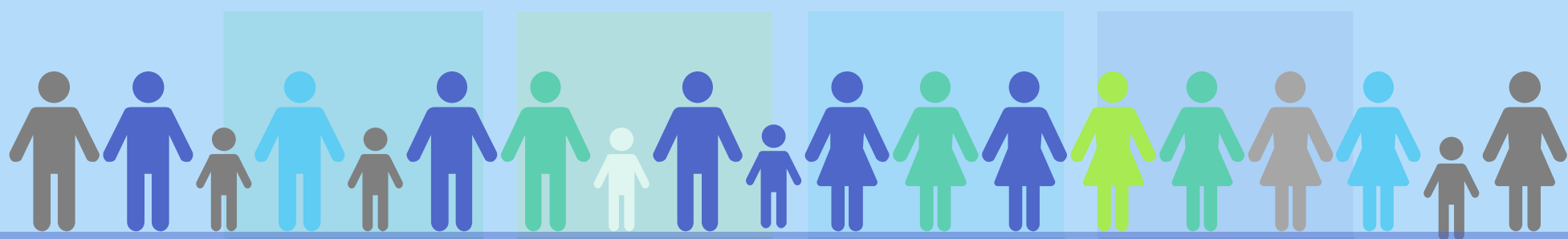
2023年11月26日（日）12:10～13:20

地域発信企画 in TOHOKU 東北における多様な取り組み ー地域のつながりと協働で目指す支援の充実ー

地域発信企画は、日本語教育学会秋季大会の開催地を対象地域としながら、その地域の日本語教育の様々な取り組みや成果を全国に発信することを目的に開催されます。

今年の開催地は東北の山形県です。東北地方には長年続けてきた日本語教室もあれば、新しくできた日本語教室もあります。どの教室も地域とのつながりをとても大切にしています。最近では、地域とのつながりを活かして、様々な機関と積極的に協働しながら、地域の外国人住民の支援を行っている教室もあります。

今回の地域発信企画では、東北地方の様々なタイプの日本語教室をご紹介しますとともに、それぞれの教室の取り組みについて、参加者のみなさんと情報交換をしてみたいと思っています。みなさんの地域の教室を新しく展開させる、あるいは新しい教室を開くためのヒントが見つかるかもしれません。お楽しみに！



2023年度日本語教育学会秋季大会 地域発信企画 IN TOHOKU

東北における多様な取り組み
—地域のつながりと協働で目指す支援の充実—

第1部 12:10~12:40

散在地域における多様な日本語教育実践

NPO法人ヤマガタヤポニカ
代表 横沢 由実 (山形)

当会は1993年に設立した日本語教師グループです。地域日本語教育(日本語教室への参画、日本語ボランティア支援)、企業への日本語教育の提供、外国出身の子どもの進学支援等、地域のニーズに対応する活動を行ってきました。日本語教師が少ない地域での仲間作り、相互研修、ネットワーク作り等の取り組みについて紹介します。

第2部 12:50~13:20

日本語ティールーム33年の歩み

日本語ティールーム
志田 紀子 (宮城)

仙台市と近郊に住む外国人のための託児付きの日本語教室として1990年に開設しました。組織や活動の改善、使用テキストの変遷など、時代の変化への対応を具体的な例をあげて紹介します。また、今後地域日本語教室の役割における予想される問題について考えます。

外国につながる子どもたちの支援の充実をめざして

山形こども日本語サポートネット
渡辺 敏・黒崎 敬子・長藤 節子 (山形)

本団体は外国につながる子どもたちを取り巻くさまざまな課題解決をめざす支援者の会です。山形県村山地域を中心に、各市町の教育委員会と連携し、学校内外での日本語学習支援、通訳・翻訳支援、相談対応、研修会等を実施しています。今回は、山形県村山地域の外国につながる子どもの支援の状況と、本団体の活動についてご紹介します。

在住外国人コミュニティや諸機関との連携・協働実践

Yurt東北日本語教師協働会
事務局長 吉田 環 (宮城)

当団体は地域日本語教育の視点から、日本語教育従事者や外国につながる人々と協働し、多文化共創社会を目指すための場づくりを行っています。R3・4年度、秋田県在住ベトナム人コミュニティと共に、秋田県にかほ市のオンライン日本語教室を運営しました。多様な機関との連携・協働実践についてご紹介します。

多文化共生の地域づくり:「拠り所」としての日本語教室

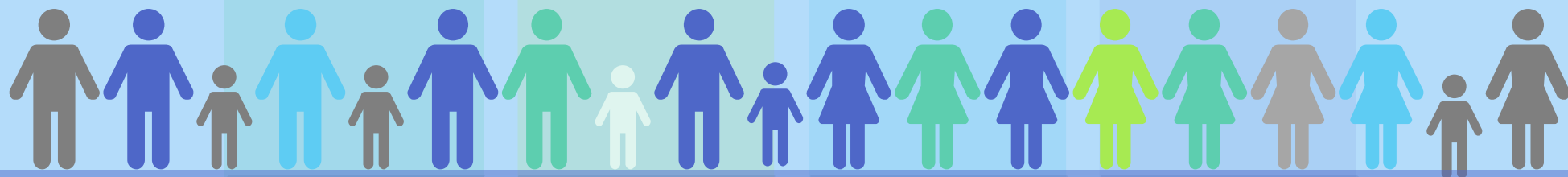
出羽庄内国際村日本語教室
工藤 智美 (山形)

私達は学習者に合わせた少人数制の教室を運営しています。主会場に加え、他の公共施設やオンラインを使った開講等、参加しやすい環境づくりに努めています。地域行事への積極的な参加、相談窓口とのスムーズな連携など、日本語教室を中心とした地域とのつながりも充実させています。発足30年を迎える活動を紹介いたします。

地域日本語教室が取り組む多様な活動

NPO法人みちのく国際日本語教育センター
馬場 亜紀子 (青森)

私達は青森県において21年間にわたり日本語教室を開催しているNPO団体です。現在、主な事業となる対面クラスとオンラインクラスでは、毎回50名ほどの参加者が集まり、とても賑やかです。企業や教育委員会とも協働で事業を行っています。私達NPOの幅広い取り組みや、活動、様々な課題について発表いたします。



公益社団法人

日本語教育学会

Association for Japanese Language Education

101-0065 東京都千代田区
西神田2-4-1 東方学会ビル2階
☎ 03-3263-4291
FAX03-5216-7552